

研究主題：主体的、対話的で深い学びの実現を目指して

~TANKYU~

谷地南部小学校
校内研究だより
2022. 7. 25
No.12 文責 伊藤

第3学年 算数 「数の表し方やしくみを調べよう ~小数~」

3年 授業研究会 成果と課題

課題1「個別の支援の仕方」

- 数直線やしますや虫食いの紙やデータがあって、子供たちが考えやすかった。
- 説明の仕方が言葉だけでなく図もあることを教師が提示していた。
- △動けず、考えを表現することができない子もいた。
- △自由交流と固定グループの使い分けが必要。



課題2「考えの共有の仕方」

- ICTは、考えの表現の仕方が多様で子どもが選んで使いやすい。
- △ロイロは、一人の考えがたくさんあるときに、授業中にすべて見るが大変。
- △個人で考える時間を少し短くし、共有する時間を長くすることもあり。
- △共有の時に画面に4つならべたりすることをしたかった



【吉田主幹からのご指導から】

- 導入段階で既習のふり返しをしたことにより、考えをもつ時間で取り組みやすくなっていた。
- 資料の準備、学力に合わせた資料がたくさんあった。
- △資料箱にたどり着けない児童もいた。取り組み方を選択させるとしても、ヒントカードは全員に渡してしまっても良かった。
- △数として考えた後で、最後に「単位」に戻すことによって身近なもの繋がって、知識や活用力が広がっていく。